



## 2021年6月期企業動向アンケート調査(第105回) ～今期は前期比改善、来期も今期比改善するもマイナスが続く見込み～

- アンケート回答企業の今期（4～6月期）の業況判断D I（全体）は「▲17」と、前期比6 P改善した。来期（7～9月期）の見通しも「▲11」と今期比6 P改善するが依然マイナスが続く見込み。
- 業種別では、製造業とサービス業が前期比改善した一方、他の業種は悪化した。来期は、製造業が「+8」とプラスに転ずるほか、卸小売業、サービス業も今期比改善の見込み。
- 資金繰りD Iは全体で「+5」、設備・店舗等D Iが「▲7」、雇用者数D Iは「▲34」で、それぞれ前期より改善した。
- 今年の夏季賞与支給（見込み）総額は、前年比「横ばい（51.6%）」が最も多く、1人あたりの平均支給倍率は1.51倍、平均支給額は32万円であった。
- 2020年度の採用者数は、全体で1,174人、うち、県内出身者は791人、外国人が27人であった。業種別では、製造業が438人（うち、県内199人、外国人20人）と最も多かった。採用者の履歴では、「中途採用」が690人（うち、県内485人、外国人25人）と最も多かった。
- 新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」）の影響は、前期比「変わらない（50.6%）」が最も多い。対策では、「就業時のマスク着用（72.3%）」「マスク・消毒液の備蓄（66.8%）」「換気の徹底（60.9%）」など感染拡大防止の回答が多かった。

＜全般的業況判断D Iの動き＞

業種	D I		
	前期	今期	来期見通し
全体	▲23	▲17	▲11
製造業	▲21	▲5	8
建設業	▲9	▲11	▲20
卸小売業	▲35	▲36	▲27
サービス業	▲24	▲21	▲13

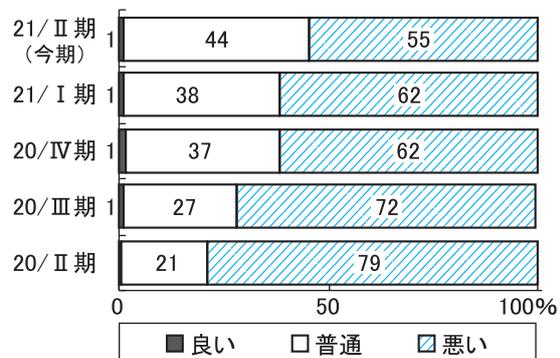
### 現在の県内景気をどう見えていますか？

#### ＜「悪い」が55%＞

県内景気の判断は「悪い」が55%と前期比7 P縮小し、「普通」は44%(同+6 P)であった。

前年同期は、「悪い」が際立っていたが、コロナの予防習慣や新たな生活様式の定着、ワクチン接種の進展等で「普通」が増え、今期は「悪い」が過去1年間で最少となった。今後はコロナ禍前の2019年Ⅳ期（良い：4%、普通：74%、悪い：22%）並みに回復することが待たれる。

県内景気の判断



注) 四捨五入の関係により、内訳の和は、必ずしも100%にはならない

## —アンケート調査の概要—

実施期間：2021年6月1日～6月15日

対象先：県内に本社または支店等を有する企業（600社）

内容：①景況判断

②自社の業況

③2021年夏季賞与支給状況について

④2020年度（20年4月～21年3月）の採用者数について

⑤コロナの影響と対策

調査方法：郵送によるアンケート

回収状況：回答企業 254社（回答率 42.3%）

※本調査は、当所と宮崎県が共同で実施し、調査結果は県政にも活用されることになります。

### <回答企業内訳>

		業 種				資 本 金		
		製造業	建設業	卸小売業	サービス業	3千万円未満	1億円未満	1億円以上
企業総数	254 100.0%	86 33.9%	53 20.9%	66 26.0%	49 19.3%	131 53.9%	94 38.7%	18 7.4%
県 央	119 46.9%	22	26	40	31	58	47	8
県 北	59 23.2%	21	14	17	7	28	24	4
県南西	76 29.9%	43	13	9	11	45	23	6

注) 業種、資本金、所在地の未記入企業があり、総数と一致していない。下段は企業構成比率

### <所在地区分>

県 央：宮崎市、西都市、東諸県郡、児湯郡

県 北：延岡市、日向市、東臼杵郡、西臼杵郡

県南西：都城市、小林市、えびの市、日南市、串間市、北諸県郡、西諸県郡

<業種区分>：サービス業には、製造、建設、卸小売業以外の業種を含む

### <文中の用語>

前期：2021年1～3月期（3月調査）

今期：2021年4～6月期（6月調査）

来期：2021年7～9月期（9月調査）

I期：1～3月、II期：4～6月

III期：7～9月、IV期：10～12月

### DI（Diffusion Index）

「好転・増加・過剰」の回答割合(%)－「悪化・減少・不足」の回答割合(%)＝DIで、景気動向を判断する指標のひとつ

P：ポイント

## 1. 全般的業況判断

(前期比)

(表1、図1)

### 全体では6P改善

今期の全般的業況DI(「好転」-「悪化」)は全体で「▲17」と、前期比6P改善した。業種別では製造業、サービス業が改善し、建設業、卸小売業は悪化した。来期は全体で「▲11」と今期比6P改善し、製造業はプラスに転ずる見込み。

従業員別では「200人以上(▲3)」が前期比+20Pと大幅改善し、来期は「+3」とプラスに転ずる見込み。

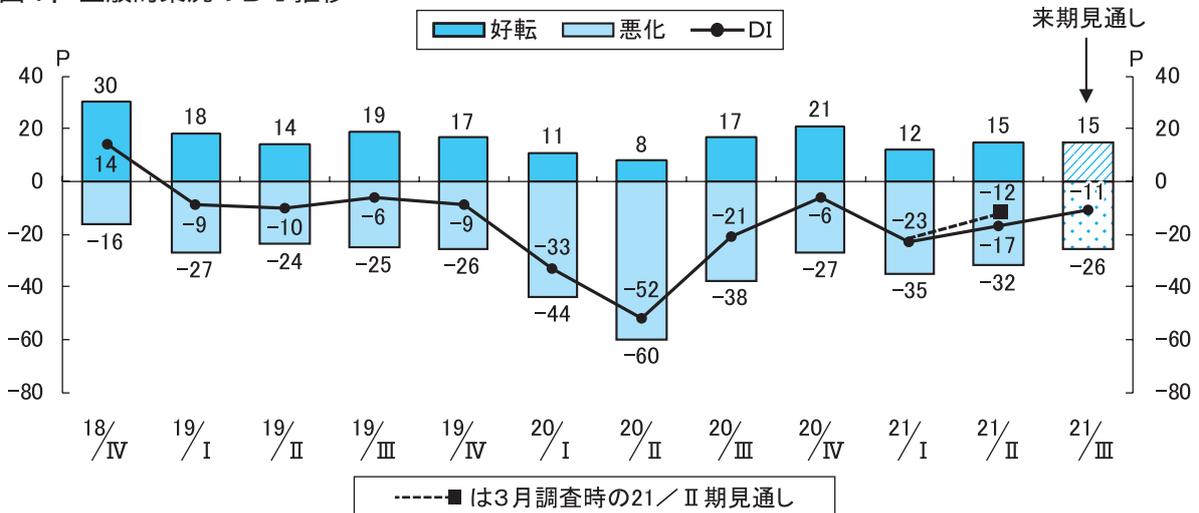
表1. 全般的業況(業種別・規模別)

単位: %、ポイント

項目	業況	好転(A)	悪化(B)	今期DI(A)-(B)	前期DI	来期DI
全体(254)		15	32	▲17	▲23	▲11
業種	製造業(86)	21	26	▲5	▲21	8
	建設業(53)	8	19	▲11	▲9	▲20
	卸小売業(66)	11	47	▲36	▲35	▲27
	サービス業(49)	16	37	▲21	▲24	▲13
従業員	50人未満(142)	15	32	▲17	▲28	▲11
	50~99人(52)	13	31	▲18	▲11	▲19
	100~199人(24)	8	38	▲30	▲15	▲16
	200人以上(30)	20	23	▲3	▲23	3
資本金	3千万円未満(131)	16	32	▲16	▲24	▲7
	3千万~1億円未満(94)	14	32	▲18	▲23	▲17
	1億円以上(18)	11	22	▲11	▲17	0

不明分は除く。( )は回答企業数

図1. 全般的業況のDI推移



## 2. 業種別DI

業況(前期比)、売上・利益(前年同期比)

○製造業(図2、次頁表2)

### 前期比改善

今期の全般的業況DIは、前期比16P改善して「▲5」となった。分野別でも、「木材木製品」「電気電子部品」で「木材の需要増」「半導体の需要増」などの理由で前期より改善した。

来期は、「中元関連商品の増産」など季節的要因や、「ワクチン接種の進展による消費マインドの回復」「新商品の売上増」等の期待から、DIは「+8」とプラスに転ずる見込み。

図2. 製造業DI

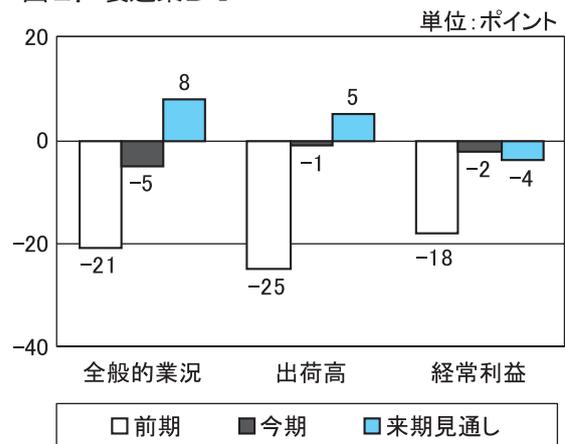


表2. 製造業9分野における業況DI

単位：%、ポイント

分野	好転	不変	悪化	今期DI	前期DI	来期DI
食料品・飲料	22	48	30	▲8	▲23	13
繊維製品	0	71	29	▲29	▲15	▲43
木材木製品	30	50	20	10	▲29	10
化学製品	50	0	50	0	0	0
窯業土石	0	50	50	▲50	0	25
機械器具	0	50	50	▲50	▲50	50
金属製品	29	57	14	15	▲14	0
電気電子部品	0	100	0	0	▲34	50
その他製造業	24	55	21	3	▲15	11

### ○建設業 (図3)

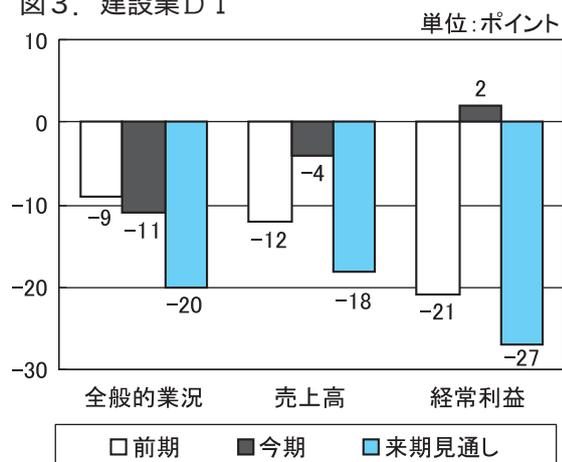
#### 前期比やや悪化

今期の全般的業況DIは、「▲11」と前期比2P悪化した。

「民間設備投資の受注」等「好転」の回答が一部にある一方、「コロナの影響による営業制限や集客不足」「木材価格の上昇」など「悪化」の回答も多かった。

来期は、一部に「民間投資・公共工事の受注あり」など「好転」の回答があるものの、「コロナによる予定の延期」「原材料価格の上昇」等、「悪化」の回答も増え、DIは「▲20」の見込み。

図3. 建設業DI



### ○卸小売業 (図4)

#### 前期比ほぼ横ばい

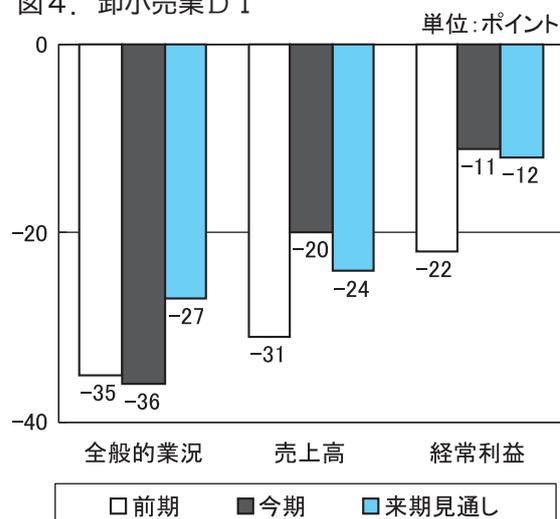
今期の全般的業況DIは「▲36」と、

前期比ほぼ横ばいとなった。

5月に県独自の緊急事態宣言が発令され、「外食向けの業務用食品、酒類が減少」「マスクなどの特需商品がない」「移動自粛による来客の減少」など「悪化」の回答が多かった。

来期は、一部に宣言解除後の特需を期待する回答があるものの、感染予防の行動様式が続くことや、変異株の感染状況など、先行きを懸念し、「悪化」の回答が依然多く、DIは「▲27」の見込み。

図4. 卸小売業DI



### ○サービス業 (次頁図5)

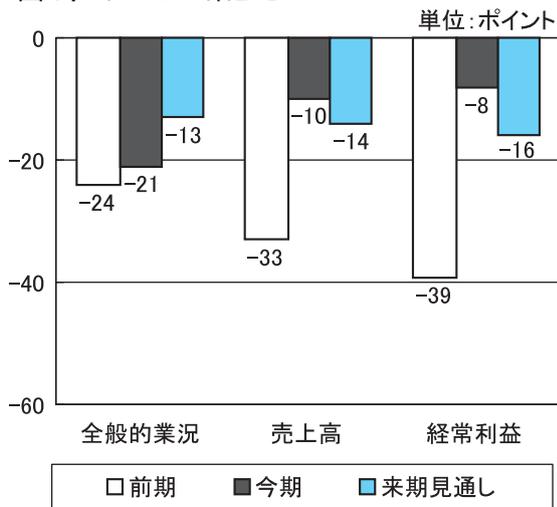
#### 前期比改善

今期の全般的業況DIは「▲21」と、前期比3P改善した。

一部に「イベントの中止」「宿泊客の減少」など「悪化」の回答があるが「システム開発を受注」など「好転」も増えた。

来期は一部に「外出自粛で売上増は困難」など「悪化」の回答もあるが、「ワクチン接種の進展」「東京五輪等の需要喚起に期待」等、好転を見込む回答も増え、DIは「▲13」の見込み。

図5. サービス業D I



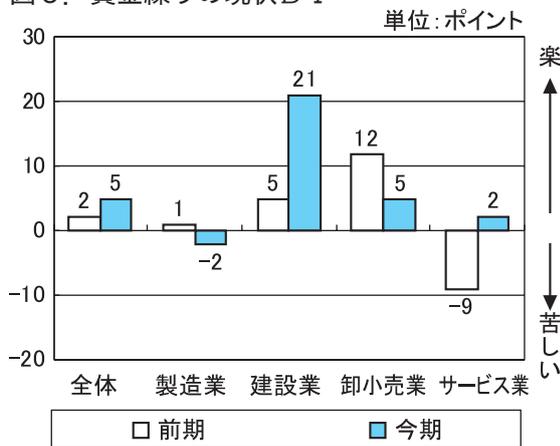
### 3. 資金繰りの現状 (図6)

#### 前期比改善

資金繰りの現状D I (「楽」-「苦しい」) は、全体で「+5」と前期比3 P改善した。

業種別では、建設業が前期より16 P改善し、サービス業はプラスに転じた。

図6. 資金繰りの現状D I



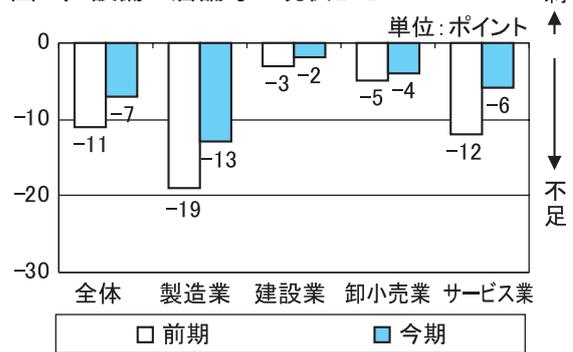
### 4. 設備・店舗等の現状 (図7)

#### 前期比改善

設備・店舗等の現状D Iは全体で「▲7」と、前期比4 P改善した。

業種別でも全ての業種で前期より「不足」の幅が縮小し、製造業、サービス業はそれぞれ6 P改善した。

図7. 設備・店舗等の現状D I



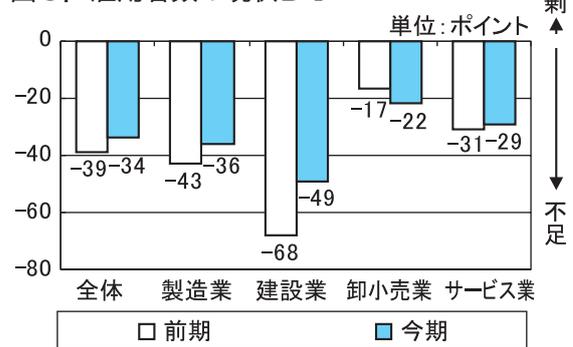
### 5. 雇用者数の現状 (図8)

#### 前期比改善

雇用者数の現状D Iは、全体で前期比5 P改善し「▲34」となった。

業種別でも、卸小売業を除く全業種で前期より不足幅が縮小しているが、総じて人手不足の状態が続いている。

図8. 雇用者数の現状D I



### 6. 2021年夏季賞与支給状況

(次頁表3、4)

#### 倍率・支給額とも前年より上昇

2021年夏季賞与支給(見込み)総額は、全体で前年比「横ばい(51.6%)」が最も多く、業種別では、建設業の52.9%が「横ばい」と回答した。

「増加」は全体で21.5%(前年比+13.0 P)で、2019年比も+8.1 Pとなった。1人当たりの平均支給状況は、全体の倍率が「1.51倍」支給額は「32万円」で、

倍率・支給額とも過去2年間で最も高かった。

表3. 2021年夏季賞与支給（見込み）  
総額（前年比） 単位：%

	増加	横ばい	減少	支給しない	未定
全 体	21.5	51.6	9.3	5.3	12.2
	8.5	48.5	17.4	4.8	20.8
	13.4	56.9	11.9	6.7	11.2
製 造 業	18.8	51.8	11.8	3.5	14.1
	6.0	44.0	24.0	3.0	23.0
	12.2	52.4	17.1	4.9	13.4
建 設 業	29.4	52.9	3.9	2.0	11.8
	17.2	59.4	4.7	1.6	17.2
	13.8	64.6	7.7	3.1	10.8
卸 小 売 業	22.6	51.6	9.7	6.5	9.7
	9.2	50.0	19.7	3.9	17.1
	13.4	55.2	13.4	7.5	10.4
サービ 業	16.7	50.0	10.4	10.4	12.5
	1.9	41.5	17.0	13.2	26.4
	14.5	56.4	7.3	12.7	9.1

注) 四捨五入の関係により、内訳の和は、必ずしも100%にはならない  
上段：2021年  
中段：2020年  
下段：2019年

表4. 2021年夏季賞与支給（見込み）  
1人当たり平均支給状況 単位：倍、万円

業種	賞与			支給額		
	2019年	2020年	2021年	2019年	2020年	2021年
全 体	1.49	1.38	1.51	31	30	32
製 造 業	1.54	1.25	1.41	32	26	29
建 設 業	1.50	1.48	1.70	35	39	41
卸 小 売 業	1.40	1.38	1.53	29	27	28
サービ 業	1.52	1.53	1.41	29	32	33

（「支給なし」「未定」「不明分」を除いた企業（203社）の平均値）

## 7. 2020年度の採用者数（表5、図9）

### 「中途採用」が最多

2020年度の採用者数は、全体で1,174人、「うち、県内」が791人（構成比67.4%）、外国人は27人（同2.3%）となった。

業種別では、製造業（438人）が最も多く、卸小売業（261人）と続いた。「うち、県内」の構成比は、卸小売業（226人）が86.6%、次いでサービス業（192人、77.1%）となった。「うち外国人」は製造業（20人）が最も多く採用していた。

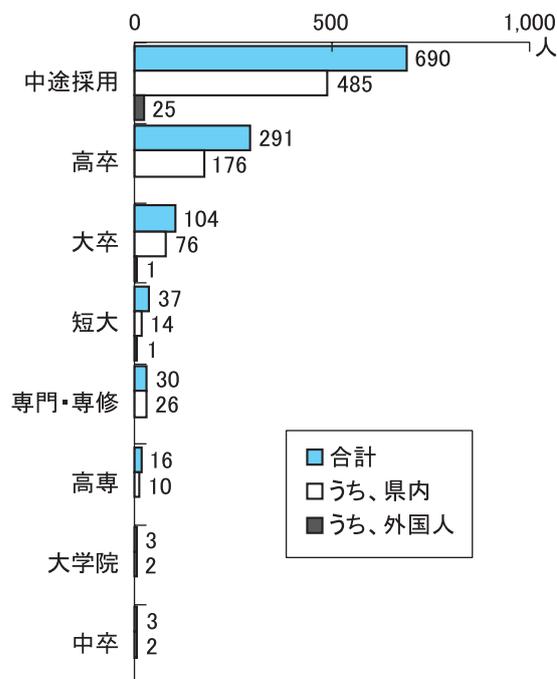
履歴別では、「中途採用」が690人と最も多く、うち、県内は485人（構成比70.3%）外国人は25人（同3.6%）であった。

表5. 2020年度の採用者数（業種別）  
単位：人（%）

業種	採用者数		
	全 体	うち、県内	うち、外国人
合 計	1,174	791 (67.4)	27 (2.3)
製 造 業	438	199 (45.4)	20 (4.6)
建 設 業	226	174 (77.0)	6 (2.7)
卸 小 売 業	261	226 (86.6)	- (-)
サービ 業	249	192 (77.1)	1 (0.4)

（企業数：160社）

図9. 2020年度の採用者数（履歴別）



（企業数：160社）

## 8. コロナの影響と対策

（次頁表6、7、図10）

### 影響の度合いは3月と「変わらない」

3カ月前と現在を比較したコロナの影響の度合いは、全体で「変わらない（50.6%）」が最も多く、全ての業種で「変わらない」が最も多かった。「影響はない」は全体で24.7%（前期比+2.3P）で、

業種別でも全業種で前期を上回った。

内訳では、プラスの影響として、中食、リフォーム、抗ウイルス製品の需要増や、業務の電子化や通販など新たな業務手法などの意見があった。

マイナスの影響は、出張や対面での営業活動自粛、納期の遅延のほか、新規案件の停止、休業による人員削減など、深刻な意見もみられた。

表6. コロナの影響の度合い 単位：%

	強まった	弱まった	変わらない	影響はない
全 体	15.5	9.2	50.6	24.7
製 造 業	16.5	11.8	44.7	27.1
建 設 業	3.8	7.5	54.7	34.0
卸 小 売 業	23.4	10.9	48.4	17.2
サービス業	16.3	4.1	59.2	20.4
	28.0	8.0	44.0	20.0

注) 四捨五入の関係により、内訳の和は、必ずしも100%にはならない

上段：今期  
下段：前期

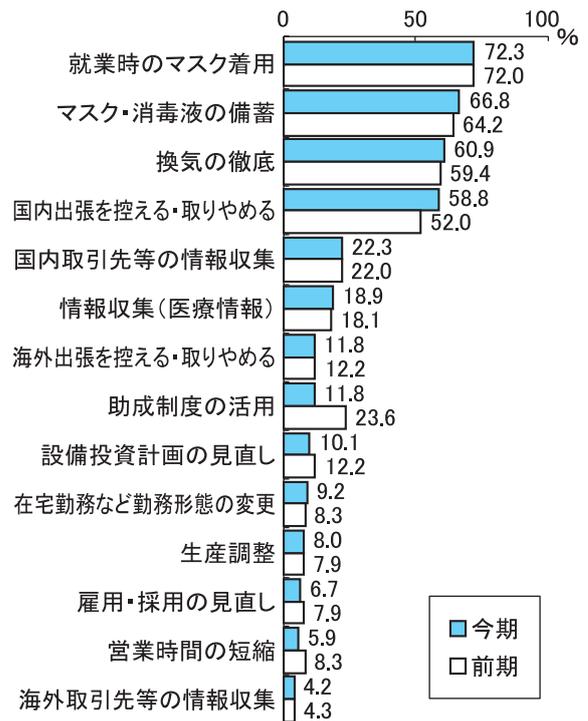
表7. 影響の内訳

プラスの影響
中食の需要が増加
業務のやり方を見直せた
リフォームの問い合わせが増えた
通販などで新規顧客を獲得できた
抗ウイルス製品の認知度が上がった
従業員の健康管理意識の向上
業務の電子化を推進した
マイナスの影響
出張、会議、懇親会の自粛
来店客の減少
時短営業による売り上げ低迷
休業等による人員削減
対面営業の減少
出張自粛で県外からの発注に対応できない
資材納期の遅れ、工事の延期
新規案件の停止
感染防止対策のコスト増
広告出稿の減少
変異株の増加を懸念

## 対策は「就業時のマスク着用」が最多

コロナの対策では「就業時のマスク着用(72.3%)」が最も多く、「マスク・消毒液の備蓄(66.8%)」「換気の徹底(60.9%)」と続いた。「助成制度の活用(11.8%)」は前期より半減した。

図10. コロナの対策



## 9. まとめ

今期の業況は前期より改善し、来期も改善が見込めるものの、依然マイナスの状態である。

夏季賞与では、1人当たり支給率・額とも前年を上回った。2020年度の採用者数は、業種別では製造業、履歴別では中途採用が最も多かった。コロナの影響が続く中、感染予防の徹底も継続している。コロナのワクチン接種が進むことで、安心感が広がり、収束への道筋がみえると、県内企業の業況も改善に大きく前進すると考えられる。(勝池)

## 第 105 回企業動向アンケート結果（業種別）

		＜今期見込み＞				＜来期見通し＞			
		好転 増加 (A)	不変 (B)	悪化 減少 (C)	D I (A)-(C)	好転 増加 (A)	不変 (B)	悪化 減少 (C)	D I (A)-(C)
アンケート回答 企業の全般的業況	全 体	15	54	32	▲ 17	15	59	26	▲ 11
	製 造 業	21	53	26	▲ 5	24	59	16	8
	建 設 業	8	74	19	▲ 11	6	68	26	▲ 20
	卸 小 売 業	11	42	47	▲ 36	11	52	38	▲ 27
	サービス業	16	47	37	▲ 21	14	59	27	▲ 13
売上（出荷）高	全 体	25	41	33	▲ 8	18	53	29	▲ 11
	製 造 業	30	38	31	▲ 1	29	47	24	5
	建 設 業	19	58	23	▲ 4	8	66	26	▲ 18
	卸 小 売 業	21	38	41	▲ 20	12	52	36	▲ 24
	サービス業	29	33	39	▲ 10	17	52	31	▲ 14
経常利益	全 体	25	45	30	▲ 5	17	54	30	▲ 13
	製 造 業	27	44	29	▲ 2	22	52	26	▲ 4
	建 設 業	23	57	21	2	9	55	36	▲ 27
	卸 小 売 業	21	47	32	▲ 11	15	58	27	▲ 12
	サービス業	29	35	37	▲ 8	17	50	33	▲ 16
		現 状							
		楽 過剰 (A)	普 通 適正 (B)	苦 しい 不足 (C)	D I (A)-(C)				
資金繰り	全 体	21	62	16	5				
	製 造 業	19	60	21	▲ 2				
	建 設 業	25	72	4	21				
	卸 小 売 業	20	65	15	5				
	サービス業	24	53	22	2				
設備・店舗等	全 体	7	79	14	▲ 7				
	製 造 業	8	71	21	▲ 13				
	建 設 業	4	91	6	▲ 2				
	卸 小 売 業	8	80	12	▲ 4				
	サービス業	8	78	14	▲ 6				
雇用者数	全 体	7	51	41	▲ 34				
	製 造 業	7	50	43	▲ 36				
	建 設 業	6	40	55	▲ 49				
	卸 小 売 業	8	62	30	▲ 22				
	サービス業	10	51	39	▲ 29				

※回答社数構成比%  
D I は%ポイント